

(付属資料) 相互運用性実証事業の普及に向けたロードマップ

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
相互運用性実証事業の普及に向けたロードマップ			実証実験のなかで各社、一部のシステムでの対応		一揃いのセットを完成させ、各社製品への反映開始	実証事業終了達成目標: EMR:20% Cost:9%	各社製品の相互運用性対応(院内外)本格化		
		各社製品への反映作業 準備・開発・適用							
標準の開発	データの互換性	利用者情報 患者情報(基本情報) オーダ情報(処方) 検査結果(検体検査)	患者情報(感染症など) オーダ情報(検体検査) オーダ情報(放射線) 病名情報 注射指示、実施情報	検査結果(レポート、参照画像) 手術、処置	実証実験	健康情報を含めた健康・医療の総合情報システムにおける相互運用性の実現へのアプローチ		→	
	適用ガイドライン	患者情報(基本情報) 検査結果(検体検査)	オーダ情報(処方) 病名情報	患者情報(感染症など) オーダ情報(検体検査) オーダ情報(放射線)					
	システムの相互接続性	放射線ワークフロー 臨床検査ワークフロー	内視鏡検査ワークフロー 循環器検査ワークフロー	病理検査ワークフロー ワークフローの改良					
	システム共通基盤	SSO仕様の作成 HPKI接続実験	監査証跡フレームワーク 電子紹介状の実証実験	監査証跡ガイド案策定 電子紹介状の普及支援					
数値目標									
	実証実験参加会社数(目標)		11	16	19				
	病院電子カルテベンダー数		8	11	12				
	病院部門システムベンダー数		3	5	7				
	実証実験参加システム数		15	20	25				
	製品実装数		0	5	10				
	IHEコネクタソン								
	参加会社数	23	29	36	40	コネクタソン実施継続			
	参加システム数	48	62	60	70				
成果についての啓蒙と製品への反映		実証実験の進め方について、JAHISプロジェクト推進委員会メンバーの各社で検討する。							
	データ互換性 (コンバージョンツール開発)	アレルギー、患者基本、検査結果、RIS/LIS		JAHIS標準の制定、実医療機関データによる実証実験、主要ベンダに主力製品への実装開始		実装の拡大	→ システム更新への実適用 実装の拡大と		
	臨床情報システムへの適用 (PKG改造)	IHEの中で進めることを推進。IHE T/Fへも反映を図		病名、処方、検査情報 シナリオ 処方監査、トウショーのシステム、IHE-IT					
	システムの相互接続性 (PKG改造)	コネクタソンによる推進・実績のベンダ製品への実装計画の公表							
	電子診療情報提供書(電子紹介状) (アドオン開発)	MEDIS-DCで先行実験		普及・啓蒙	業務ワークフロー整備	実装の拡大			
		電子紹介状の標準化はHELICS承認が前提							
標準化普及の施策		実証事業成果はJAHIS標準化推進、HELICS提案へ							
	JAHIS標準								
	HELICS標準	臨床情報システムへの適用はIHEへの提案へ							
	相互運用性の導入ガイド(案)			技術部会にて策定	関連団体への意見招請	医療機関における利用促進への支援			
	HL7開発支援ツールの開発・提供	H16年度JAHIS標準化成果に基づく機能開発		H17年度版の配布、普及活動	H18年度版の配布、普及活動				
				H17年度JAHIS標準化成果に基づく機能開発					
	実フィールド(病院)での実験					データの互換性等の実フィールドでの実証実験	ベンダ拡大による実証実験の継続	→	
	用語・コード及び標準マスタの整備・普及					医薬品マスタ、臨床検査マスタの方策検討・対応計画立案	標準マスタ普及継続実施	→	
	普及への課題の整理と対応	課題の整理の実施		課題の対応策推進	課題対応の実施と				
				&レビュー	残項目の整理				